

# 「發覺」と「發現」の違い

吉田耕司

「發覺」「發現」はどちらにも「發」という字が使用されている。中日大辞典（愛知大学中日大辞典編纂処編・増訂版）の親字「發」の注釈に③あける、開く、暴く⑬感覚が起こる。感ずる。という項がある。③の例に「發現」があり、発見する、と訳がついている。見出し語には、両単語とも説明されていて、「發覺」が発覺する、悟る。「發現」は意味が三つに分かれており、①発見（する）②（文語・文語的用法として）表す（れる）③気付く、という訳が出ている。

「發覺する」とは、悪事や秘密が未然に人に知られること（三省堂・新明解国語辞典より）を意味する。

例えば

①大規模的逃税被發覺了。※

この場合日本語では「」が発覺した」となる。中国語の「發覺」では、受動を表わす「被」が前に置かれる。が、これは応々にして發現に置き換えられる。例えば

②大規模的逃税發覺了。私

次に「悟る」だが、日本語では意味が広く、「發現」の気付くとはほぼ同意と見られんばかりの例もある。

③發覺的時候已經來不及了。※

④今天早上我發覺有一條毛毛蟲在肩上海爬。

⑤我發覺衣服上的扣子少了一粒。

などは気付くとしたほうがよいものである。

一方「發現」の発見（する）という意味では、

⑥愛因斯坦發現相對論。

⑦我發現了「新」大陸。

⑧居里夫人日夜不斷的研究發現了鐳質。

などがある。この発見する、が発展して見つけるという意味をつくる。

⑨我發現了地上有一個紅包。

⑩我發現有內奸。

⑪我發現了明日之星。

次に表す（れる）であるが、文語的表現なので殆どその意味では使用されない。

⑫良心發現。

がその例である。

最後の気付くは、「發覺」とも、意味が重なることが多い。

⑭ 我發現他沒有穿任何衣服。

⑮ 我發現你很可愛。

例文⑮を「發覺」と置き換えても何の抵抗も感じない。しかし、日本語に訳す場合、これを気付くとするよりも思うと訳したほうが良いようである。

では、単に思うと気付くだけの区別なのだろうか？まず「發現」は目で認識することが必要である。⑮の例文を例にとると、私はあなたを見ている状態であるか、あなたに会っている状態が考えられる。それに対し「發覺」は、まず感覚（例えば肌ざわりなど）で感じとっている。例文④は、見てはいないが、感じとして何かが感じられ、それを見るなり判断するなりして、認識している。与えられている感覚から、それを認識するのだから、言うなればその対象は、古い情報と言ってよいだろう。対して、「發現」は、現時点では全く新しい事物を見出し、発見する。気が付くのである。

更に、「發覺」は、対象に対して主観的に感じ、「發現」は、客観的に認識する。

⑯ 她發覺自己非常優柔寡斷

⑰ 我發覺氣溫改變了。

⑱、⑲の例文は、いずれも主観的判断である。

⑳ 發現我已經長大。

㉑ 我發現一件事物是很不容易的。

㉒、㉓は客観的に認識している。

もう一度⑮の例文にもどると、今まで意中になかったあなたが、今日（今）突然可愛くなった時に使用する。もし、「發覺」を

使うと、私はあなたを可愛いと感じています（以前もそう思っていた）という時に使用すると考えられる。

※なお、例文は、一部中日大辞典の例を用い、残りは陽明國中の三年生の生徒約三百名弱に作文（發覺、發現の二つ）をしもらった。

・※印は、中日大辞典より引用。

・（私）は、例文を私が改作したもの。

・無印は全て陽明國中の学生による作文である。